

第3章 スマート都市づくりの基本的な考え方

1. スマート都市づくりの5つの目標

多様な都市機能が集積し、交通の利便性が高い六甲山系南部の市街地や、鉄道に沿って住宅地や産業団地が島状に展開している六甲山系北・西部の市街地など、神戸のそれぞれの地域特性に応じて総合的・戦略的に施策を展開します。

目標1 多様な都市機能がまとまった「コンパクトな土地利用」の誘導

住宅や商業・業務施設などの適正な配置や、身近な生活利便施設の確保を促し、都市内の移動によるCO₂排出量を削減するため、鉄道に沿って市街地が島状に展開した神戸の都市構造をもとに、多様な用途が共存した市街地を、メリハリをつけて戦略的に形成します。

多様な都市機能が集積することにより、効率的なエネルギー利用がしやすくなります。また、山麓市街地などで緑とゆとりをもたせることにより、生物の生息・生育空間が拡大します。

目標2 公共交通を中心とした「人と環境にやさしい交通環境」の形成

地域間の移動を支える公共交通ネットワークの維持や、地域内の移動における環境負荷の少ない移動手段への転換を促し、都市内の移動によるCO₂排出量を削減するため、市街地の形成にあわせて整備された神戸の公共交通ネットワークをもとに、公共交通の利用を促進するとともに、歩いて暮らせるまちを形成します。

目標3 多様な建築物の集積を活かした「効率的なエネルギー利用」の促進

更新時期を迎える建築物や都市施設のエネルギー性能の向上を促し、建築物から発生するCO₂排出量を削減するため、六甲山系南部に多様な用途の建築物が集積した神戸の特長をもとに、効率的なエネルギー利用を促進します。

目標4 海や山の豊かな自然環境と市街地とをつなぐ「水と緑のネットワーク」の形成

水と緑の多様な機能の活用を促し、ヒートアイランド現象に対応するとともに、生物多様性の保全をはかるため、瀬戸内海や六甲山などの神戸の豊かな自然環境をもとに、それらと六甲山系南部の市街地とをつなぐ水と緑のネットワークを形成します。

目標5 協働と参画で進める「環境マネジメント」の導入

CO₂排出量の削減やヒートアイランド現象への対応、生物多様性の保全に向けた取り組みを、効果的・効率的に進め、継続していくため、神戸で培われた協働と参画のまちづくりの仕組みをもとに、土地利用や都市交通、エネルギー、水と緑を総合的にマネジメントしていきます。

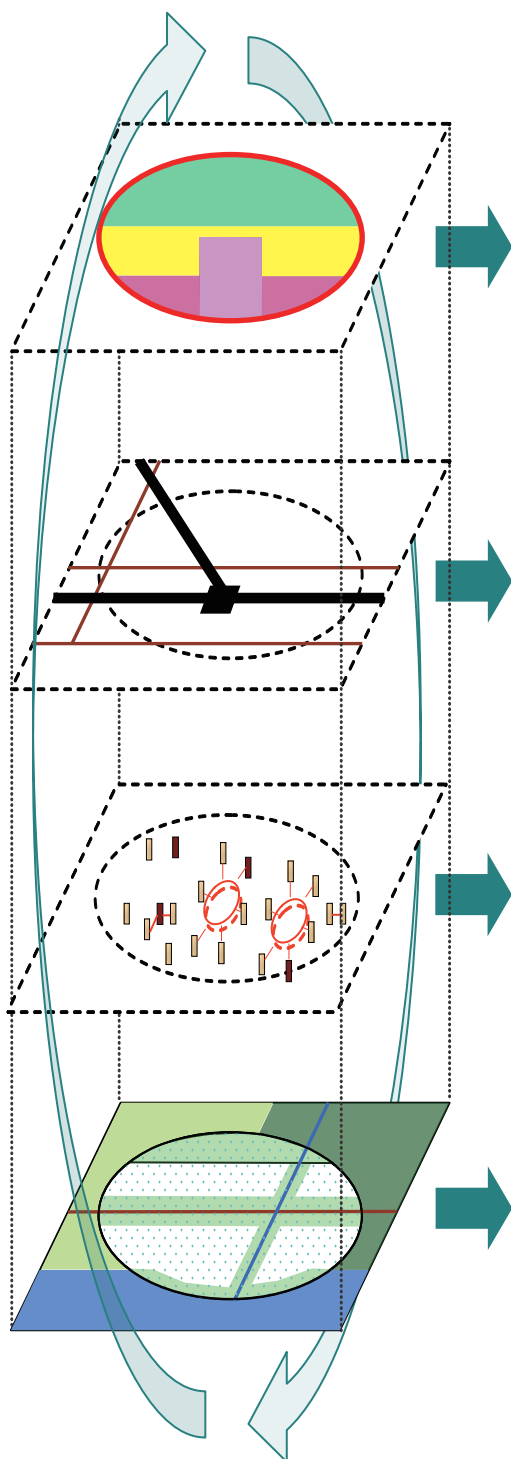


スマート都市・神戸のイメージ（六甲山系南部の市街地）



スマート都市・神戸のイメージ（六甲山系北・西部の市街地）

2. 施策展開の15の方針



目標1 多様な都市機能がまとまった

「コンパクトな土地利用」の誘導

- 方針① 都心域や連携・地域拠点等における多様な都市機能(商業・業務、住宅など)の集積
- 方針② 山麓部などの基盤が不十分な市街地における緩やかな低密度化の誘導
- 方針③ 徒歩圏に生活利便施設が立地した住環境の形成

目標2 公共交通を中心とした

「人と環境にやさしい交通環境」の形成

- 方針④ 公共交通ネットワークの維持・形成と利用促進
- 方針⑤ 公共交通や歩行者・自転車を重視した交通環境の整備
- 方針⑥ 環境負荷の少ない自動車利用環境の整備

目標3 多様な建築物の集積を活かした

「効率的なエネルギー利用」の促進

- 方針⑦ エネルギー消費の削減と利用効率の向上
- 方針⑧ 未利用エネルギーの活用
- 方針⑨ 再生可能エネルギーの活用

目標4 海や山の豊かな自然環境と市街地とをつなぐ

「水と緑のネットワーク」の形成

- 方針⑩ 山麓部・臨海部等における良好な緑の保全・創出
- 方針⑪ 生物や風の通り道にもなる環境形成帯の創出
- 方針⑫ 水・緑・風を活用した熱環境の改善

目標5 協働と参画で進める「環境マネジメント」の導入

- 方針⑬ 選択と集中による戦略的な取り組みの推進
- 方針⑭ 協働と参画による環境と共生したわがまち空間づくり
- 方針⑮ 社会情勢の変化に柔軟に対応できる定期的な検証・評価と反映

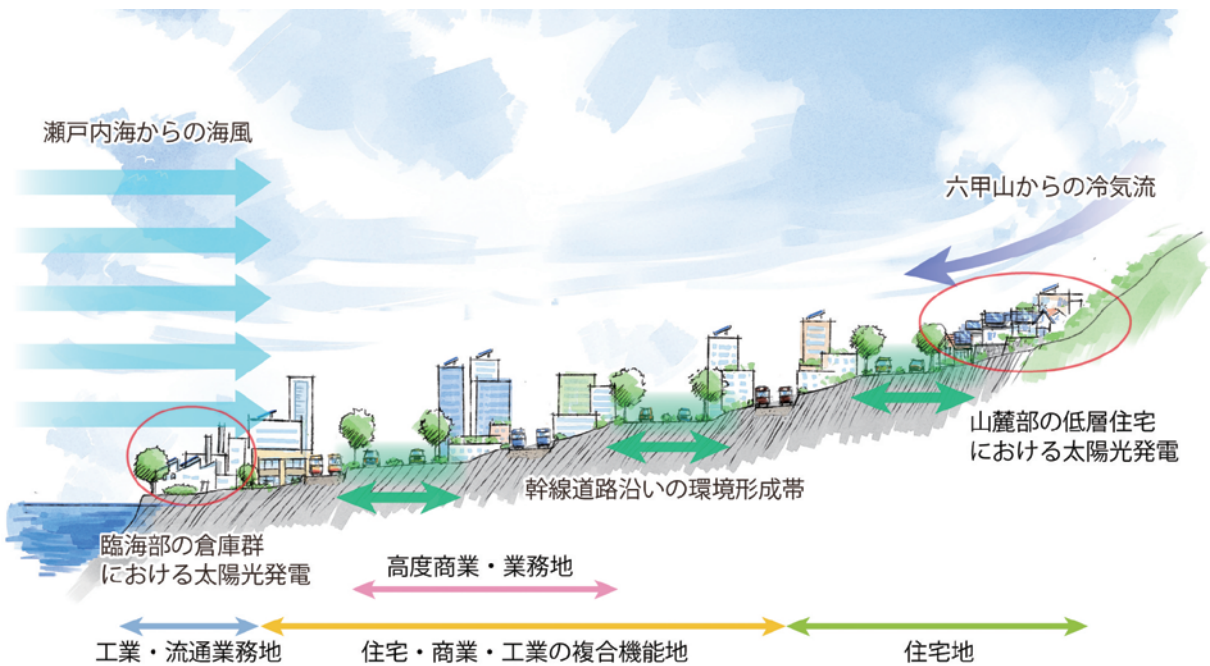
ゾーン	まちのゾーン	
	田園のゾーン	
	みどりのゾーン	
拠点	都心域	
	都心核	
	都心拠点	
	連携拠点	
交通	広域公共交通（鉄道）	
	主要公共交通（バス）	
水と緑	河川	
	環境形成帯	
	緑地保全配慮地区の候補地	



スマート都市づくりの方針図

※「拠点」について

- 都心域：多様な人々が暮らし、働き、学び、楽しむ神戸の魅力を世界に発信するエリアとして、様々な都市機能を強化するとともに、都市機能の連携による相乗効果を促進
- 都心核：三宮駅周辺において、神戸の玄関口にふさわしい風格のある都市空間を形成
- 都心拠点：主要駅周辺では高い交通利便性や多様な地域特性を活かして、商業・業務機能、文化・交流機能、住機能などの集積を促進
- 地域拠点：公共交通機関の結節機能の強化や商業・業務・文化機能などの集積を促進
- 連携拠点：地域拠点の機能に加え、隣接市との連携に必要なターミナル機能などを強化



スマート都市づくりの方針図（六甲山系南部の市街地）